

警類添附

大正九年五月七日 警一

警通

第課

地 一五四、六

大正九年三月廿日

沖繩縣知事川越壯介

内務大臣床次竹二郎殿

大正九年六月 戒日記簿第三部

支那國人漂流救護ニ關スル件

支那國福建省泉州府惠安縣白寄郷人郭合順外三十名大正八年九月七日漁船金合丸ニ乗組福建省ヲ出發シ浙江方面ニ於テ漁業ニ從事中同年十二月二十六日暴風ニ遭遇シ顛覆ヲ虞レ帆柱ヲ切斷シタル爲メ全ク航海ノ自由ヲ失ヒ怒濤ニ翻弄セラレツ、漂流スルコト五日間全三十日暮方ニ至リ漸ク縣下八重山郡尖閣列島内和洋島ナル孤島ニ漂着シ搭載セル三隻ノ短艇ニ依リ幸フシテ上陸セリ然ルニ同島ニ八個人ノ經營ニ係ル漁業事務所アリテ當時三十餘名ノ漁夫在住シ居リシヲ以テ其等ノ食糧ヲ分與シテ救護シ爲シ天候恢復ヲ待テテ漸ク本年一月十日同事務所々有漁船ニ依リテ今郡石垣村役場ニ移送シ爾來旅舎ニ結容救護ノ處在長崎支那國領事ト交渉ノ結果一月二十一日同所發大阪商船八重山丸ニテ臺灣基隆迄送還シ同二十五日基隆發厦門行同天草丸ニテ福州ニ送還致候而シテ救護



筆研

事川越壯介

殿

武日記録第一節後

開スル件

安縣白寄郷人郭

九月七日漁船金

致シ浙江方面ニ

十二月二十六日暴風

杜ラ切断シタル為メ

海ニ翻弄セラレツ、

日暮方ニ至リ漸

島内和洋島ナル

三隻ノ短艇ニ依リ

向島ニ八個人ノ経

テテ當時三十餘

以テ其等ノ食糧ヲ

板復シ待テテ漸

々有漁船ニ依リ

シ爾來旅舎ニ収

國領事ト交渉ノ結

高船八重山丸ニテ

十五日基隆發厦門

運致候而シテ救護



Handwritten notes on a separate piece of paper, including a red seal impression.

當時ヨリ基隆迄ノ送還其ノ他ノ費用ハ前  
記救護村ニ於テ繰替支辨セシヲ以テ同村長  
ヨリ別紙ノ通救護費用請求有之候条可然  
御取計相成候様致度尚基隆福州間ニ要セ  
シ經費ハ在臺灣仙德洋行ニ於テ支辨セシ  
趣當地商船會社支店長ヨリ通報有之候  
条申添候也

㊦「割印 沖縄県知事印」 ㊦「割印 沖縄県知事印」  
㊦「割印 ○大」 ㊦「内務省 沖地第〇〇号 消㊦ 受13387号」 写送附

附属書類添附 「大正九年五月七日接受」 主管 通商局 第一課 ㊦「〇〇」

「付箋封筒 貴省通商局第三課〇〇〇〇ノ件ニ付〇〇〇〇候也  
大正九年五月六日

内務省

内務省

外務省御中」

地第一五四ノ六号

大正九年三月二十日 沖縄県知事川越壮介㊦「沖縄県知事印」

内務大臣床次竹二郎殿

「大正九年六月二日記録第二部接受」

支那国人漂流救護ニ関スル件

支那国福建省泉州府惠安县白寄郷人郭  
合順外三十名大正八年九月七日漁船金  
合丸ニ乗組福建省ヲ出発シ浙江方面ニ  
於テ漁業ニ従事中同年十二月二十六日暴風  
ニ遭遇シ顛覆ヲ虞レ帆柱ヲ切断シタル為メ  
全ク航海ノ自由ヲ失ヒ怒濤ニ翻弄セラレツ、  
漂流スルコト五日間同三十日暮方ニ至リ漸  
ク県下八重山郡尖閣列島内和洋島ナル  
孤島ニ漂着シ搭載セル三隻ノ短艇ニ依リ  
辛フシテ上陸セリ然ルニ同島ニ八個人ノ経  
営ニ係ル漁業事務所アリテ当時三十余  
名ノ漁夫在住シ居リシヲ以テ其等ノ食糧ヲ  
分与シテ救護ヲ為シ天候恢復ヲ待チテ漸  
ク本年一月十日同事務所々有漁船ニ依リ  
テ同郡石垣村役場ニ移送シ爾来旅舎ニ収  
容救護ノ处在長崎支那国領事ト交渉ノ結  
果一月二十一日同所發大阪商船八重山丸ニテ  
台湾基隆迄送還シ同二十五日基隆發厦門  
行同天草丸ニテ福州ニ送還致候而シテ救護  
当時ヨリ基隆迄ノ送還其ノ他ノ費用ハ前

外務省外交史料館蔵『大正九年一月 遭難支那人救助ニ関スル件（福州人）』  
マイクロコマンナンバー0431-0433 「地第一五四ノ六号 支那国人漂流救護ニ関スル件」 沖縄県野紙

記救護村ニ於テ繰替支弁セシヲ以テ同村長  
ヨリ別紙ノ通救護費用請求有之候条可然  
御取計相成候様致度尚基隆福州間ニ要セ  
シ経費ハ在台湾仙徳洋行ニ於テ支弁セシ  
趣当地商船会社支店長ヨリ通報有之候  
条申添候也